

が示されましたが、市では、子どもが安心して生活できる環境を確保するため、国より厳しい市独自基準(測定高5センチメートルで毎時0・23マイクロシーベルト以上の場合除染)を設定し、子どもたちが利用する学校や保育所、公園から優先して除染を始め、24年度に全公共施設の除染が完了、25年5月に私有地の除染も終え、市内全域で除染が完了しました。今後も定期的に公共施設の放射



まごころ便は各ステーションに、20分から30分間停車し、車内などに陳列された商品を直接手に取って買い物ができます

線量を測定し、再び市の基準値を超えた場合は、除染を行いました。

あわせて、私有地も放射線量測定器の貸し出しを継続し、市の基準値を超える値が出た場合には、市で再度測定し、速やかに除染を行っていきます。

厳しい雇用環境の中で さまざまな就労支援

市では、厳しい雇用情勢が続く

中、16年6月から市独自に「無料職業紹介所」を開設し、職業相談員が事業所を訪問して独自に開拓した求人情報などをハローワークとは別に紹介しています。

また、市独自に若年者の就労相談などを行う「ジョブカフェのだ」の実施やひとり親家庭を対象にした資格や技能修得の支援、心の健康や多重債務者等の就労支援のための「パーソナルサポートセンター」開設など、さまざまな就労支援策を積極的に行っています。

移動販売車や店舗を展開 買い物が自宅の近くでも

日常生活圏に買い物できる場所がなく、また移動の交通手段がない高齢者世帯などは、日常生活で必要な買い物に困っていることから、市では、24年7月に中心市街地に公設民営の買物便利拠点「のだ元気市場」を開設し、25年1月には国道16号の東側を中心に半径300メートル以内に商店がない場所へ、週2回(3コース)、移動販売車「まごころ

便」の運行を開始しました。



そばに居合わせた方による救命措置が大切です。電気ショックで心肺蘇生を行うAEDなどの使用を

心肺停止状態に有効な AEDを101公共施設に

市では、心臓発作による突然死を可能な限り防いでいこうと、心肺停止状態に有効なAED(自動体外式除細動器)を平成18年から公共施設に設置を開始し、28年度までに101か所(72か所設置済み)の公共施設に整備していく予定です。

AEDは、医療に携わらない一般の方でも使用が認められている「医療機器」ですので、いざという時には皆さんのご協力をお願いします。